

## my door OSAKA のあり方検討支援業務 事業者選定の結果について

令和8年4月8日（水曜日）

my door OSAKA のあり方検討支援業務について、公募型プロポーザル方式により提案募集を行った結果、下記のとおり事業者を選定しました。

### 記

#### 1 最優秀提案事業者

**KPMG** コンサルティング株式会社

評価点 **71.1** 点（**100** 点満点）（うち価格点 **9.1** 点、提案金額 **35,200,000** 円）

#### 2 提案結果の概要

##### (1) 提案事業者 全4者（以下、申込順）

合同会社デロイトトーマツ

株式会社野村総合研究所

株式会社情報通信総合研究所

**KPMG** コンサルティング株式会社

##### (2) 提案事業者の評価点（得点順）

**71.1** 点（うち価格点 **9.1** 点、提案金額 **35,200,000** 円）

**70.2** 点（うち価格点 **9.2** 点、提案金額 **35,083,400** 円）

**61.0** 点（うち価格点 **10.0** 点、提案金額 **32,120,000** 円）

**59.1** 点（うち価格点 **9.1** 点、提案金額 **35,158,200** 円）

##### (3) 最優秀提案事業者の選定理由

- ・調整すべき市町村数が多く、実行力が求められる本業務の遂行にあたり、十分な実績を有するとともに、実施計画の内容が具体的であり、実施体制についても充実している点が評価できる。
- ・調査分析にあたり、実効性、実現性及び費用対効果の3つの軸で、具体的かつ独自性のある評価観点を提示している。特に実効性の面においては、my door OSAKA が住民の利便性向上へ寄与するかどうか、という点を最重視していることが評価できる。
- ・my door OSAKA の方針案において、市町村ごとの利用方法や利用機能に差があることを想定した共同利用パターンが整理されている点が評価できる。

(4) 選定委員会委員（五十音順、敬称略、○印は議長、所属は令和7年3月時点）

所属	委員名	選任理由
大阪公立大学大学院 情報学研究科 基幹情報学専攻 教授	阿多 信吾 (○)	大学の CIO・情報基盤構築および運用責任者であり、情報システム・サービスや、DX 推進分野に精通しているとともに、スーパーシティ研究センター所長としてスマートシティ分野にも詳しいことから、本件においては特に ICT に関する専門家としての視点より提案内容を審査いただくため。
公益社団法人関西経済連合会 常務理事・産業部長	久米 一郎	経済界に精通し、官民の連携を通じた政府への提言、各種調査研究や実証事業などを通じてビジネスモデルの具体化に必要な市場ニーズや実現課題等に精通していることから、本件においては特に事業運営等の実現可能性の面において提案内容を審査していただくため。
大阪弁護士会 (松田・澤田法律事務所)	澤田 裕和	法律の専門家として、法的な観点から個人情報の保護やコンプライアンスの遵守に精通しており、公平・公正に審査していただくため。